

仙台市新本庁舎整備事業



【計画コンセプト】

**「市民とともに、まちとともに
新たな時代に向けてチャレンジする市庁舎」
～市民の豊かな暮らしと安全のために～**

【新本庁舎の特徴】

- I 市民に愛される低層部
～多様な活動が交わり 新たな価値を生み出す 協働・共創の場～
- II 防災環境への取り組み
～率先して環境負荷低減に取り組んだ庁舎～
- III あらたな都市のランドマーク
～アイキャッチ・一体的な利活用に向けた空間整備～

I 市民に愛される低層部

～多様な活動が交わり 新たな価値を生み出す 協働・共創の場～

○庁舎敷地内には、市民などが日常的に利用できる、賑わいの場や緑にあふれる憩いの場となる滞留空間を随所に整備します。

○人々が、気軽に訪れ、様々な情報にふれることができる空間を整備します。



①南側からの屋根付広場の様子（七夕）

- ・トップライトからやわらかな自然光がさしこみ、穏やかな滞留空間を創出することで、「杜の都」仙台を象徴する新本庁舎の正面エントランスへと、あたたかく迎え入れます。
- ・大屋根は、2層吹き抜けのダイナミックな空間となっており、七夕まつりなど大きなイベント時の利用も考えています。



②北側低層建物 屋外デッキからの屋根付広場（平日）

- ・屋根付広場に面した壁には「大型ディスプレイ」を設置し、パブリックビューイング等での活用を考えております。災害時には、一時避難スペースへの転用を想定し、この大型ディスプレイを活用した情報発信を行います。



③北側低層建物（昼間・平日）

- ・ 2階には、市民、企業、学生、職員等の活発な議論を生み出す空間や課題解決のための実験の場等、様々な用途で活用できる空間を整備します。
- ・ 1階には、屋内の活動が広場に広がるような、軽飲食や民間による情報発信機能を配置する計画です。



④北側低層建物と広場（平日）

- ・ 低層部の玄関口として、交差点に開かれた広場になります。
- ・ 明るく開放的な空間をのぞみながら、ベンチや芝生などに、人々が自由に座り憩える空間を整備します。
- ・ これまであまり市役所に来ることがなかった方を含め、老若男女問わず、多くの人々に訪れていただきたいと考えています。

II 防災環境への取り組み ～率先して環境負荷低減に取り組んだ庁舎～

環境

- 内装の一部を木質化し、北側低層建物を鉄骨とCLT木造を組み合わせた木造ハイブリッド構造とすることで、カーボンニュートラルに向けた取り組みを発信します。
- 仙台の風土や気候特性にあわせた建築計画や自然換気計画とするほか、外部からの熱負荷を受けにくい工夫をし、省エネに効果的な環境技術を採用することで、未来の地球環境に貢献する、杜の都・仙台にふさわしい庁舎を目指します。
- ZEB Readyの達成のほか、CASBEE-建築のSランク、CASBEE-ウェルネスオフィスの取得に加え、緑化推進・水環境保全等の様々な環境配慮に取り組むことで、環境にやさしい魅力的な都市空間を創出・発信するグリーンビルディング（環境配慮型の建築物）として、杜の都ブランドを向上、発信します。



⑤議場

- ・エントランスホールや議場、傍聴（展望）ロビー等内装を木質化とします。

- ・北側低層建物を木造ハイブリッド構造とします。



⑥北側低層建物
（木造ハイブリッド構造）



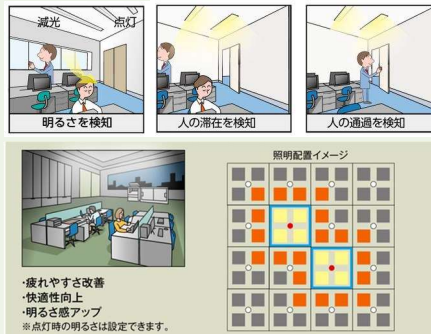
⑦行政フロア

- ・ハードの整備に加え、事務机や椅子といった什器の導入にあたり、再生材の利用促進のほか電力使用量を大幅に削減する複合機の導入などの検討を進め、環境負荷低減、循環型社会の実現を目指します。

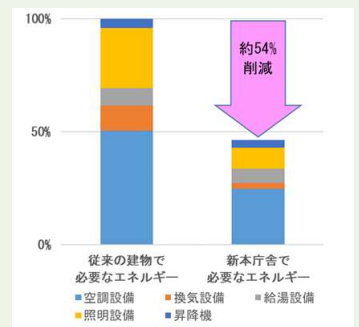
放射空調パネル



⑧行政フロア



⑨画像センサー制御イメージ図

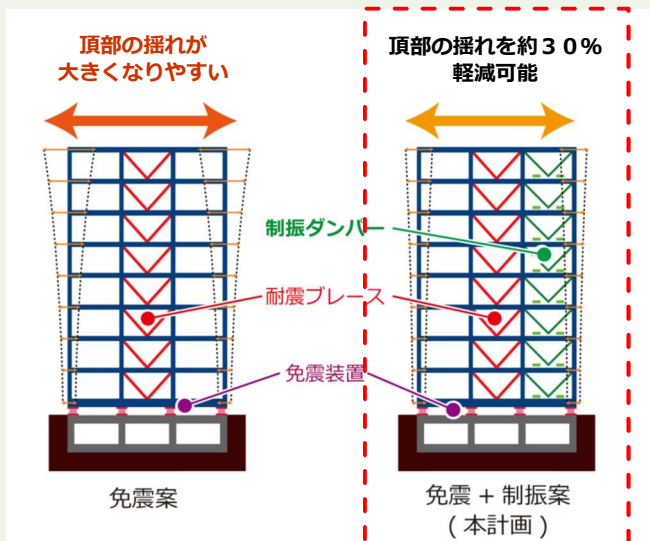


⑩エネルギー消費削減図

・行政フロアは、自然通風や採光により、執務空間の快適性を向上させるほか、放射空調や画像センサーを用いた最適な照明環境により、環境負荷低減を実現し、エネルギーの年間消費量を**54%削減**します。同規模の庁舎では、国内トップレベルの環境性能です。

防災

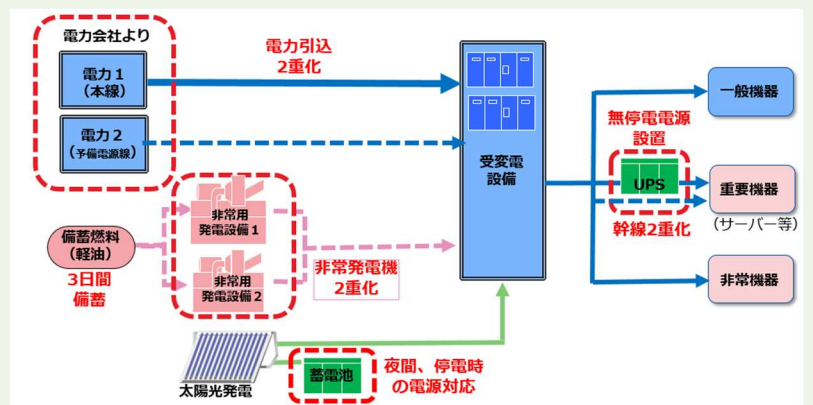
- 東日本大震災の教訓を活かし、災害対応や危機管理の中核拠点として、市民の安全・安心を守る庁舎を目指します。
- 屋上にヘリポートを設置し、支援物資の受け入れ等に対応。防災環境都市を国内外にアピールします。



⑪免震+制震構造 イメージ図

・免震+制震ハイブリッド構造の採用により、将来発生し得る巨大地震に対し、業務を継続できる高い耐震性能を確保。上層階の揺れを早期に減衰するほか、什器の転倒や二次部材の落下等を回避します。

・高圧電力2電源、2系統の引き込みや、非常用発電機などにより、電源の信頼性、冗長性を確保。市民の安全・安心を支える拠点となる、しなやかで強靱な庁舎を実現します。



⑫電源供給概略図

Ⅲ 新たな都市のランドマーク

～アイキャッチ・一体的な利活用に向けた空間整備～

アイキャッチ

- 新本庁舎は、市民のみなさまに末永く愛されるよう、周辺環境と調和するシンプルな外装デザインとします。
- 外壁面に「大型サイネージ」を設置し、市民に愛されてきたデジタル時計や様々な情報を発信するとともに、都市のランドマークにふさわしい、誰もがみてわかるアイキャッチとなる“市章”を屋上頂部に設置します。
- 日射負荷抑制やビル風抑制等の環境配慮のほか、設備機器等のメンテナンス通路としての機能を備えた“バルコニー”を、高層部まで立体的に展開させ、統一感のあるデザインとします。



- ・明るいグレー系の基調色とした外装デザインとします。
- ・外壁面に「大型デジタルサイネージ」を設置します。デジタル技術を活用し、さまざまな情報をデジタルサイネージにより発信します。
- ・14階、15階の議会フロアについては、木質化された内装が、ガラス越しに見えるデザインとします。



- ・15階に市民のみなさまがご利用できる展望ロビーを南側の一番町四丁目商店街や、東側の勾当台公園側を見渡せる位置に配置します。





⑩新本庁舎 南東面
(夜間・イベント時)

- ・執務室内の明かりが、ガラス越しにやわらかに広がり、これまでにない、あらたな夜の都市のランドマークとなります。
- ・議会フロアにある木質化された内装が、やわらかにライトアップされます。

一体的な利活用に向けた空間整備

○庁舎敷地と市民広場、市道表小路線、つなぎ横丁を“ひとつの大きな広場”と捉え、一体的な使われ方を念頭に入れ、市民のみなさまに愛される空間を整備し、周辺エリアとの賑わいの相互波及や、まちの回遊性の向上を図ります。



⑪新庁舎 南面
(昼間・イベント時)



⑩一体的利活用エリア
(昼間・イベント時)

- ・多様なイベントが開催され、多くの市民に愛されてきた市民広場と、庁舎低層部等をシームレスに繋ぎ、“ひとつの大きな広場”として一体的に活用する本計画は、他に類を見ない取り組みであり、これまで以上のスケールで市民の活動の場を実現可能にする大きなアピールポイントです。

【その他の配慮事項】

(1) 利便性の向上

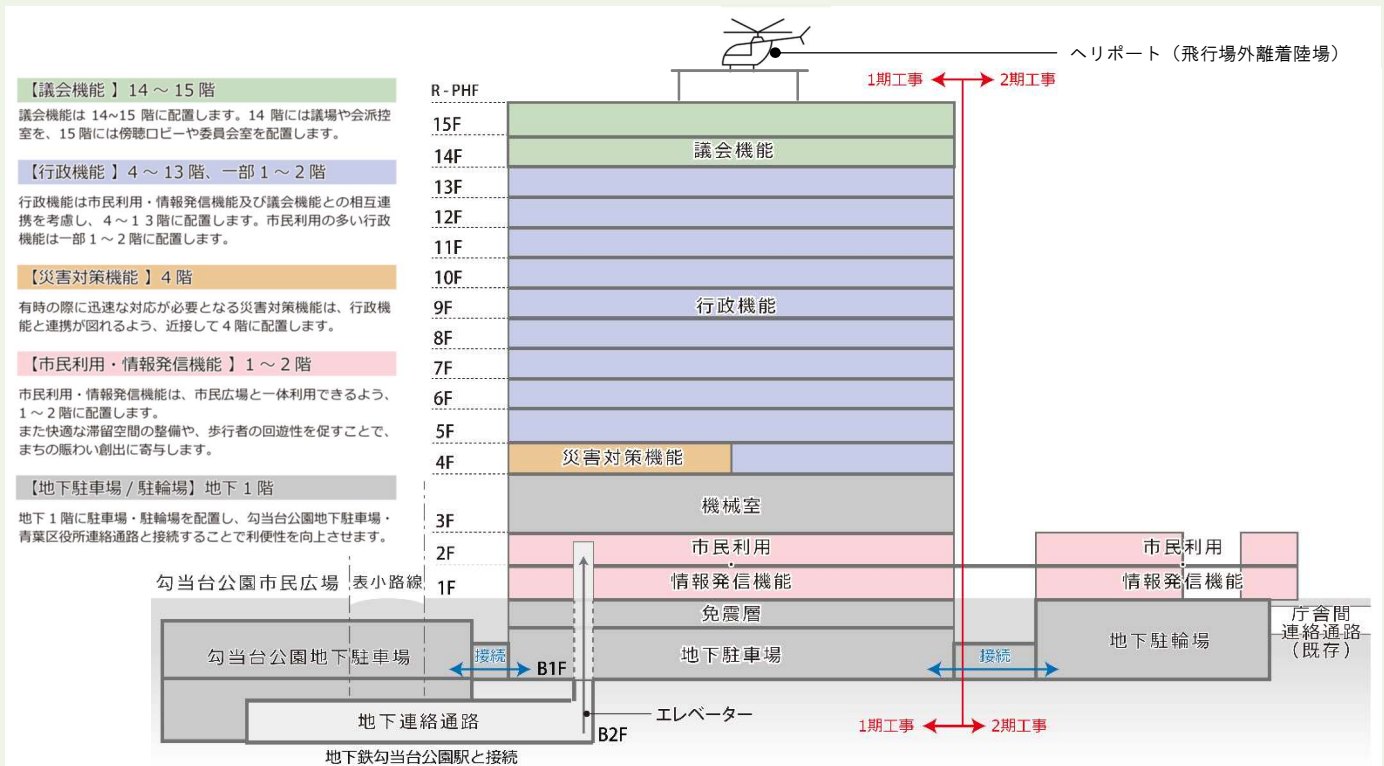
○地下鉄勾当台公園駅から地下連絡通路を引込みバリアフリー化、バス待合スペースをバス停付近に配置、本庁舎から地下鉄勾当台公園駅の出入口及びバス停までの経路に屋根を整備、1～2階の低層部には、どなたでも安心して快適に利用できるトイレを整備するなど利便性の向上を図ります。

(2) 安全安心への配慮

○正面玄関に音声誘導設備を設置し、総合案内までの移動を安全に誘導します。また、議場及び傍聴席には、難聴者対応の磁気誘導無線設備を設置、傍聴席及び親子席には、議会発言を文字に変換して映し出す発言音声認識文字表示モニターを設置するなど、障害者や老若男女どなたでも安全安心にご利用いただける庁舎です。

【計画概要】

建設地	宮城県仙台市青葉区国分町3丁目7番1号外
敷地面積	14,595.23 m ²
都市計画	都市計画区域、市街化区域
用途地域	商業地域
建蔽率	80%
容積率	500%
防火指定	防火地域
主要用途	庁舎
建築面積	約 7,459 m ²
建蔽率	51.2%
延床面積	約 65,668 m ² (既存建物含む)
容積対象床面積	約 57,342 m ² (既存建物含む)
容積率	392.9%
構造	1期 鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 2期 鉄骨造+木造(CLT 壁)、一部鉄筋コンクリート造
階数	地下2階、地上15階
高さ	79.8m (高さ制限緩和を適用)



施設構成図

発行

仙台市財政局理財部本庁舎整備室
〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
TEL 022-214-3170 FAX 022-214-8379

※R5.11月作成